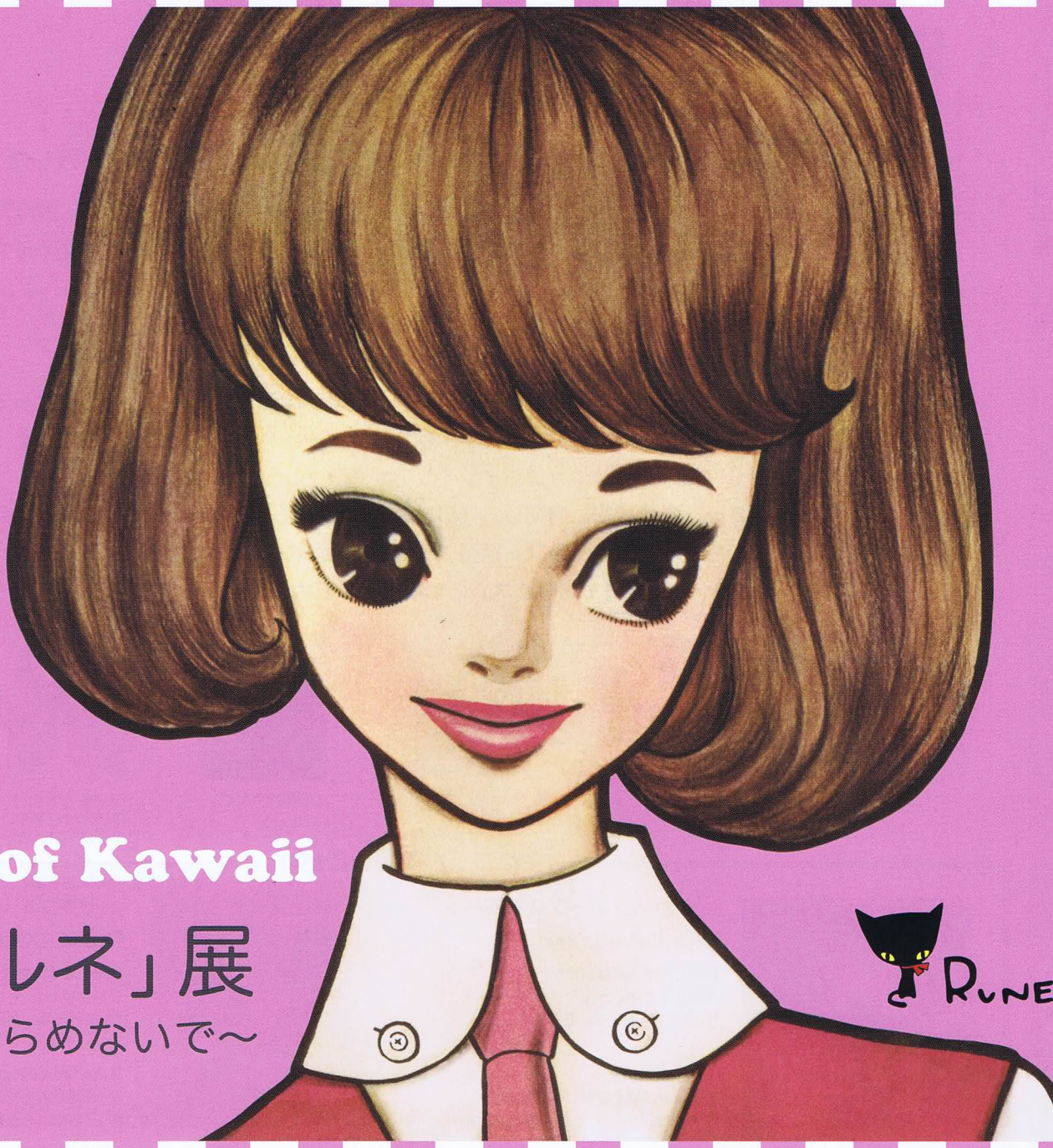
ISETAN
JAPAN
SENSES
イセタン ジャパン センスィズ



Roots of Kawaii

「内藤ルネ」展

～夢をあきらめないで～

© R.S.H / RUNE

10.21水～26月 伊勢丹新宿店本館 6 階 = 催物場

開場時間：10 時 30 分 ～ 8 時　最終日 6 時閉場（ご入場は各日共に閉場の 30 分前まで）

入場料：一般・大学生 1,000 円 / 高校生・中学生 800 円 / 小学生以下無料（税込）

伊勢丹アイカード、三越 M CARD、エムアイ友の会会員証、三越伊勢丹ホールディングス株主様ご優待カード、
障害者手帳のご提示で、ご本人様、ご同伴者 1 名様まで無料でご入場いただけます。
※お子様の安全のため、小学生以下の方々は、必ず保護者の方同伴でご入場をお願いいたします。

主催：NHK サービスセンター　企画協力：エイチ・ツー・オー カンパニー

協力：弥生美術館 、文化学園 、読売ファミリーサークル yfc

特別協力：ルネ　「内藤ルネ」公式サイト ：http://www.naitou-rune.jp/

伊勢丹新宿店　東京都新宿区新宿 3 -14 -1　03 - 3352 -1111（大代表）

新宿店営業時間：10 時 30 分 ～ 8 時　本館 7 階 = レストラン街「イートパラダイス」営業時間：11 時 ～10 時

this is japan.
ISETAN
伊勢丹 新宿
www.isetan.co.jp

Roots of Kawaii

「内藤ルネ」展　～夢をあきらめないで～

『14～15 才の少女から 70 を越した少女まで、いつまでも心にみずみずしさを残した女性のために』

“Roots of Kawaii（カワイイ）” として知られるイラストレーター・内藤ルネ（1932 ～ 2007）。
さらにいえば、内藤ルネの功績は、ガールズポップカルチャーという「一般の女の子のための文化」を日本に確立したことにあります。
内藤ルネが描く少女は、戦後民主主義の男女平等の価値観を体現した、受け身ではなく能動的に生きていく活気にあふれた明るい表情でした。
それは、当時の少女たちに、自由や平等という価値観や、積極的な生き方をビジュアルによって提示しました。
また、内藤ルネの才能は少女画だけにとどまらず、動物・フルーツ・花などをモチーフにしたデザイン・キャラクター化、ファッション、インテリアからファンシーグッズまで、ガールズポップカルチャーを全般的に開拓し、「はじめて」にチャレンジをしつづけた生涯でした。
本展では、創作初期から晩年までのイラスト原画、デザイン原画のほか約 200 点の資料により、「ガールズポップカルチャーの巨星・内藤ルネ」の功績とその魅力をご紹介します。

表紙：ジュニアそれいゆ：第３５号
1960 年

ルネパンダシリーズ　1971 年

幻想館の恋人たち

青い鳥レターセット
『少女ブック』（集英社）
1962 年 5 月号ふろく

© R.S.H / RUNE

主なコラボ商品のご紹介

写真はイメージです。

■タカノフルーツパーラー

『RUNE PARLOR』

創業130年の新宿高野が、
内藤ルネとのコラボによる
『RUNE PARLOR』を初出店。

フルーツパフェをはじめとする
ルネオリジナルメニューが５種登場。

■セキグチ

『RUNE DOLL』

2004 年に発売された
コレクションドール
『ルネドール』が待望の復刻。

Rune Girl Collection Doll
左：『夏のよそおい』￥15,000（税別）
右：『冬のよそおい』￥15,000（税別）

■画天プロジェクト

『ジクレー版画』

複製版画による内藤ルネの作品を販売。

「少女とライオン」
「かもめと少女」
「ぼくどうして涙がでるの」
ミステリアス・ロマン３枚組
￥69,000（税別）

■ALENKA my favorite RUNE

『モノグラムシリーズ』

この秋デビューした
内藤ルネのバッグブランド
「アレンカ マイ フェイバリット ルネ」。

トートバッグ￥13,000（税別）
二つ折ウォレット￥8,500（税別）
ラウンドファスナーウォレット
￥10,000（税別）

■内藤ルネのコラボアイテムも登場！イセタンWebガイド10月14日(水)より公開。www.isetanguide.com/rune/

■内藤ルネ（1932 ～ 2007）プロフィール

イラストレーター、人形作家、デザイナー、エッセイスト……。1950 ～ 1960 年代にかけて、圧倒的な人気のファッション誌『ジュニアそれいゆ』の表紙と挿絵を担当し、大ブレイク。ヴィヴィッドに彩られたキッチュな少女画で古い美少女観をひっくり返し、動物から野菜、フルーツ、そして捨てられていた家具まで、それまで誰もが見過ごしていた “カワイイの芽” を次々と見出し、イラスト以外にも家具や食器、ルームアクセサリー等に命を吹き込み、人々に発信し続けました。
彼の残した作品は、１万点以上にも及びます。内藤ルネは時代も性別も超えて乙女ゴコロを魅了するマルチ・クリエーターにして「カワイイ文化の祖」と言われています。

ポートレート　2007 年